

## ハノイ大学， JICAベトナムとの学術交流を行っています

閉鎖性海域が抱える環境と防災問題と地域社会形成に関する，国際的重要課題に応えるために，平成24年10月に，ベトナムに出向き，ハノイ建設大学・ハノイ科学大学の研究者らと情報交換を行いました。ベトナムの首都であるハノイ市周辺では，経済発展により道路や発電所等インフラ整備が盛んに行われている一方で，水環境，大気環境や廃棄物等の環境問題が起っていました。ハノイの大学でも，そういった環境問題に対する研究が進められており，今後の国際協力研究へ向けての貴重な意見・情報交換を行うことができました。



ハノイ建設大学での学長等と一行との交流

また，ベトナム北部に位置するハロン湾沿岸ごみ埋立地やハロン湾内の視察を行い，現地でJICAベトナムのモニタリングチームと情報交換を行いました。ハロン湾が2000年に世界遺産に認定されて，ハロン市が観光都市として発展している一方で，日本と同じような埋立て等の沿岸域の開発による環境問題が起っていました。また，沿岸で良質な石炭が取れることから，石炭採掘跡地からの排水問題が起っていること等の地域特有の環境問題も多く存在し，今後の国際協力研究へ向けての貴重な意見・情報交換を行うことができました。



ハロン湾調査のJICAベトナムとの意見交換

## 市民公開講座「有明海・八代海を科学する」および体験実習

研究成果の地域への還元および干潟浅海域に関する環境教育の充実を目的として，一般市民を対象とし公開講座「有明海・八代海を科学する」および体験実習が熊本県水産研究センターとの共催で実施されました。概要は2013年3月以降に熊本大学ホームページ (<http://engan.kumamoto-u.ac.jp/index.html>) に掲載されます。

### 講義

- 9月26日：「生物多様性のある八代海再生研究プロジェクト」  
滝川 清 (沿岸域センター)
- 10月3日：「有明海・八代海の生物多様性」  
逸見泰久 (沿岸域センター)
- 10月10日：「八代海湾奥部の環境変動と底生生物の反応」  
嶋永元裕 (沿岸域センター)
- 10月17日：「有明海・八代海における資源増殖の取り組み」  
山下幸寿 (熊本県水産研究センター)
- 10月24日：「海藻付着細菌の環境ストレス応答」  
瀧尾 進 (沿岸域センター)
- 10月31日：「宮城県東部 (気仙沼湾) における  
巨大地震津波による沿岸環境の変化」  
秋元和實 (沿岸域センター)

## 沿岸域センターと拠点形成B研究グループの合同講演会

「第11回沿岸域環境科学教育研究センター講演会」と「2012年度熊本大学拠点形成B「閉鎖性沿岸海域における環境と防災，豊かな環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成」成果報告会」の合同講演会が，2012年11月10日(土)に，熊本大学工学部百周年記念館で開催されました。沿岸域センターと拠点形成B研究グループの教員・研究員による最新の成果が報告され，ロビーではポスター発表や八代地域の歴史写真が展示されました。

### 「有明海・八代海再生研究の現状」

- 滝川 清 (沿岸域センター 教授)
  - 「八代海湾奥部における小型底生生物群集の動態」  
嶋永元裕 (沿岸域センター 准教授)
  - 「八代海湾奥部の環境は，悪化しているのか？」  
逸見泰久 (沿岸域センター 教授)
  - 「藻場海草アマモに付着する細菌類の解析」  
瀧尾 進 (沿岸域センター教授)
  - 「巨大津波による海域環境の変化 —東日本大震災の影響評価—」  
秋元和實 (沿岸域センター 准教授)
- ほか